

【福岡女学院教会 主日家庭礼拝】

2025. 2. 9.

降誕節 第7主日

黙想(黙禱)

招詞 神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。
独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。
(『讃美歌21』93-1-20)

讃美歌 545 (まことの神)

主の祈り

讃詠 83 (聖なるかな)

聖書 マタイによる福音書 13章10節～17節
(新約 24頁)

信仰告白 使徒信条

メッセージ 「たとえを用いて語る」 多田玲一牧師

祈禱 ※それぞれ自由にお祈り下さい

讃美歌 478 (どんなものでも)

頌栄 24 (たたえよ、主の民)

黙想(黙禱)

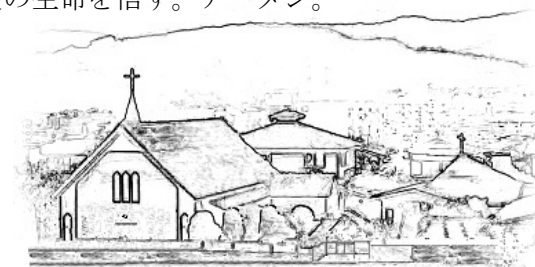
◎ 讃美歌は歌詞を読むだけでも結構です。

【主の祈り】 (『讃美歌21』93-5-A)

天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあげさせたまえ。
み国を来(きた)らせたまえ。
みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ。
我らの日用(にちよう)の糧(かて)を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、悪より救い出(いだ)したまえ。
国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり。
アーメン

【信仰告白 使徒信条】 (『讃美歌21』93-4-A)

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生れ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがへり、
天に昇り、全能の父なる神の右に坐したまへり、
かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん。
我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、罪の赦し、
身体のよみがへり、永遠の生命を信ず。アーメン。



日本基督教団 福岡女学院教会

牧師 多田玲一

協力牧師 青木麻里子、大島一利

〒811-1321 福岡市南区柳瀬1丁目41-32

TEL 092-591-5627 (Fax 兼)

教会ホームページ [http:// www.fukujoch.com/](http://www.fukujoch.com/)

(教会創立 1946年6月2日)



2月 9日 マタイによる福音書 13章10節～17節

◆たとえを用いて話す理由

- 10 弟子たちはイエスに近寄って、「なぜ、あの人たちにはたとえを用いてお話しになるのですか」と言った。
- 11 イエスはお答えになった。「あなたがたには天の国の秘密を悟ることが許されているが、あの人たちには許されていないからである。
- 12 持っている人は更に与えられて豊かになるが、持っていない人は持っているものまでも取り上げられる。
- 13 だから、彼らにはたとえを用いて話すのだ。見ても見ず、聞いても聞かず、理解できないからである。
- 14 イザヤの預言は、彼らによって実現した。
『あなたたちは聞くには聞くが、決して理解せず、見るには見るが、決して認めない。』
- 15 この民の心は鈍り、
耳は遠くなり、
目は閉じてしまった。
こうして、彼らは目で見ることなく、
耳で聞くことなく、
心で理解せず、悔い改めない。
わたしは彼らをいやさない。』
- 16 しかし、あなたがたの目は見えているから幸いだ。あなたがたの耳は聞いているから幸いだ。

- 17 はっきり言うておく。多くの預言者や正しい人たちは、あなたがたが見ているものを見たかったが、見ることができず、あなたがたが聞いているものを聞きたかったが、聞けなかったのである。」

※聖書は本文は全て、日本聖書協会『聖書 新共同訳』